

くまもとアートポリスニュース第12号  
1994年1月発行

- 発行—くまもとアートポリス事務局  
熊本県土木部建築課内 熊本市水前寺 6-18-1  
tel 096-383-1111 (内線6215)  
fax 096-384-9820
- 編集—くまもとアートポリスコミッショナー事務局  
東京都渋谷区渋谷2-4-7 YK青山ビル  
通策・都市ワークショップ内  
tel 03-3407-4753 fax 03-3407-8753
- 絵—デザイナートリウム

くまもとアートポリスニュース

12号

こども版

くまもとアートポリスの  
建物<sup>もの</sup>をたんけんしよう



kumamoto artpolis

いろいろな<sup>ひと</sup>が<sup>す</sup>住んでるだんち  
ひろい庭<sup>にわ</sup>がつくられて  
たくさん<sup>あそ</sup>こどもが遊んでる  
おとしよりも ひなた<sup>たの</sup>ぼっこを楽しんでる  
右<sup>みぎ</sup>から六番<sup>ろくばんめ</sup>目の窓<sup>まど</sup>がみえるでしょ  
あそこがぼくのうちなんだ







ぼくのまちには  いろいろなものがある おお たてもの 大きな建物 ちい たてもの 小さな建物

かんばん  ベンチ トイレに行きたくなかった人・・・まちなかの



ひと 人のあし あたま くるま

トイレ ぼくも みず 水を飲んで い 行こうっと





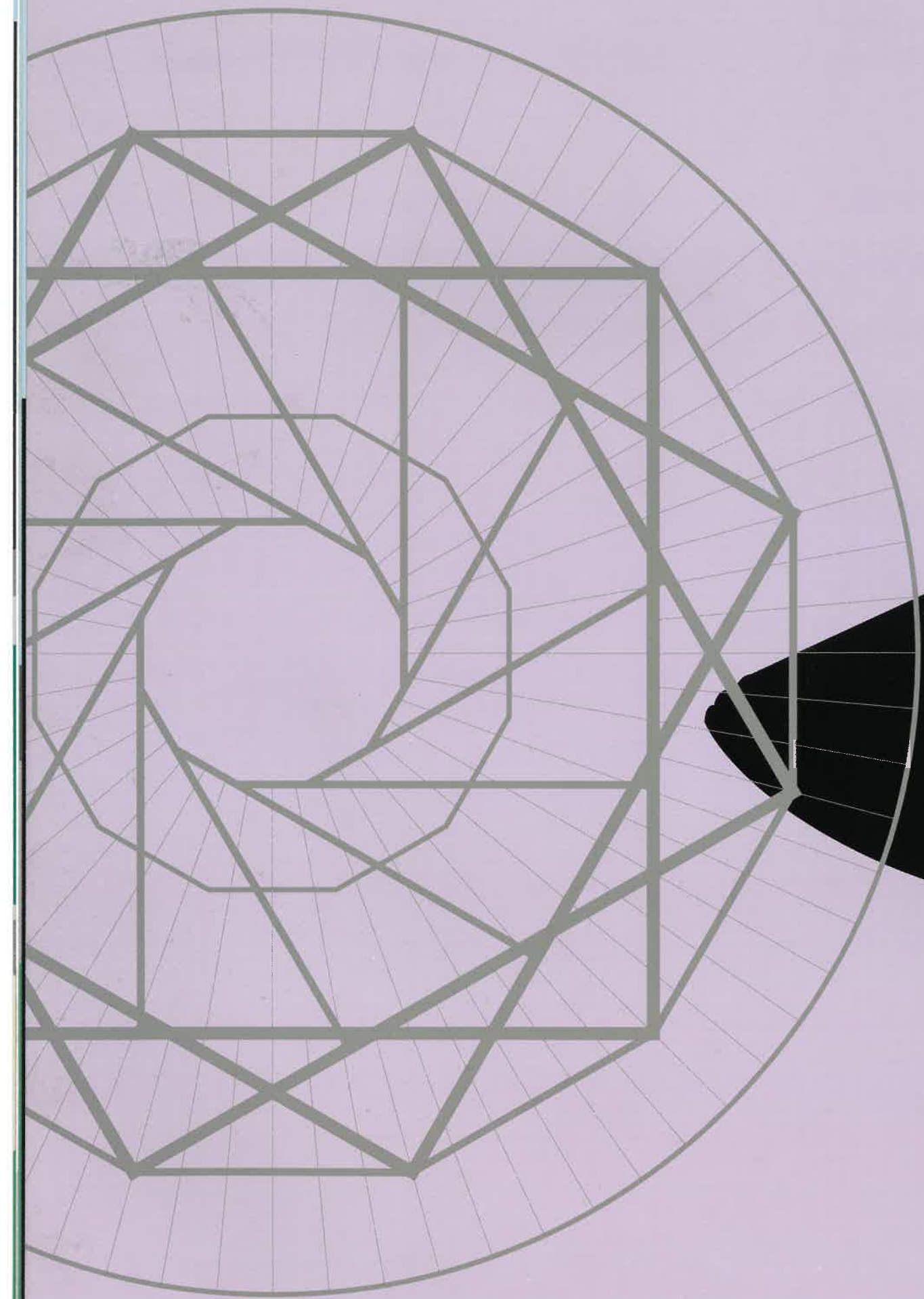
ぼくのまちにあるくまもと城<sup>じょう</sup>  
400年<sup>ねん</sup>もまえに<sup>た</sup>建てられた  
石<sup>いし</sup>がきのあしもとに  
新しい美術館<sup>びじゅつかん</sup>ができたんだ  
あのかべも石<sup>いし</sup>でできてるよ  
まだ あたらしくて白<sup>しろ</sup>っぽいけど  
ぼくがおとなになるまでに たくさん雨<sup>あめ</sup>がふったり  
風<sup>かぜ</sup>が吹<sup>ふ</sup>いたりして  
石<sup>いし</sup>がきみたいな色<sup>いろ</sup>に<sup>い</sup>かわるかな

黒いかわらがのったりっぱな門<sup>くろ</sup>  
とびらをあけてごらん  
みどりの丘に銀色の<sup>みどり</sup>  
博物館がみえるんだ<sup>おかしんいろ</sup>  
ほら<sup>はくぶつかん</sup>  
空にまい上がりそうな屋根の下<sup>そら</sup>  
丘のてっぺんまでかけっこだ<sup>おか</sup>





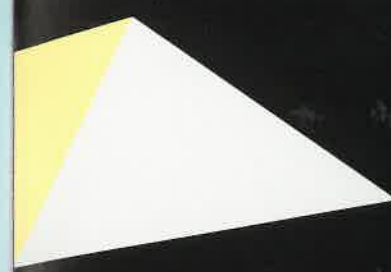
ぶんらく ふる くら つた にんぎょう  
文楽は古くから村に伝わる人形げきだ  
あのおじいさんは こどものときから  
しごとの合間に人形使いを練習してきた  
ゆうぶあー たてもの  
UFOみたいな建物でやってるよ



ずうとずうと昔むかしにつくられた  
まるい丘おかみたいなお墓はかがならんでる  
博物館はくぶつかんのひろい階段かいたんをのぼって 屋上おくじょうからながめてみようよ  
いまとおなじ景色けしきを むかしむかしの人はまるい丘おかからながめたんだろうな








まちのまなかを流れる川に橋がかかる  
こどもも おとなも渡ってる  
つりをする人 自転車で渡る人  
橋からぼくのうかがみえるかな  
夜になると  
ぼくのうから橋の明かりがみえるんだ







ふんすい  
噴水がみえたらとまってね

ぶっさんかんで<sup>やま</sup>は<sup>うみ</sup>山や海でとれたものを<sup>う</sup>売っている



くるまをおりたらテラスでひと<sup>やす</sup>休みしていこうよ

みんなにおみやげを<sup>か</sup>買っていこうかな

みわたすかぎりの<sup>だいそうげん</sup>大草原  
いろんなかたちの<sup>やね</sup>屋根がみえる  
<sup>うし</sup>牛や<sup>うま</sup>馬が<sup>す</sup>住んでるうちなんだ  
さわやかな<sup>かぜ</sup>風のなか ひさし<sup>した</sup>の下で<sup>うし</sup>牛の<sup>おやこ</sup>親子がやすんでる  
しーっ。<sup>あか</sup>赤ちゃんが<sup>ね</sup>寝ているよ







夜のまち  
たくさんのまど  
ひとつひとつ<sup>あ</sup>明かりがついてきた  
ぼくもうちに帰らな<sup>かえ</sup>きゃ



## 解説：この本に登場したくまもとアートポリスの建物

### 三角港フェリーターミナル 海のピラミッド



天草五橋の入口には石造りの三角西港があり、港のまわりには活気溢れる明治の町並みが再現されています。一方、フェリーターミナルは岬を挟んで東側、JR駅前にある三角東港にあります。巻き貝のようなスロープ（斜路）を登ると遠く天草や島原の景色が望めます。外のスロープがてっぺんで内のスロープに繋がり、やがて下りて来られる不思議な「二重螺旋」です。

### 公営住宅



くまもとアートポリスではいくつもの公営住宅が建設されました。たくさんの世帯が集まった生活には一軒家にはない楽しさがあります。たとえば中庭や通路は住む人びと同士が出会い、語り合う場所で、みんなで利用する「居間／コミュニティ・スペース」です。中庭、廊下、階段、ピロティ（柱のある吹きさらし空間）などが工夫されています。

### 熊本市上江津湖畔トイレ／ 熊本市花畑パークトイレ



公衆トイレは誰もが使う町の施設です。町を歩いていてトイレに行きたくなった経験はだれにでもあるでしょう。同じように町にあって便利な施設や建物、たとえば水飲み場、公衆電話、ベンチ、街路灯もなくてはならないものです。花畑パークトイレには水飲み場や公衆電話が備えられています。

### 熊本県立美術館分館



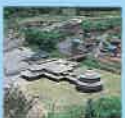
使われていなかった旧図書館の建物が美術館として生まれ変わりました。古い建物もアイデア次第で新しくなる例です。外壁に使われた天草の合津石は年月が経つにつれて味わい深い赤錆色に変化します。中心部に400年の歴史がある熊本城がそびえる熊本。その足元につくられた美術館も石垣と同じように永く親しまれることを期待しています。

### 八代市立博物館 未来の森ミュージアム



博物館が建つ場所には八代城址や松浜軒が集まっています。博物館の屋根の上に浮いている取蔵庫を見てください。タイムカプセルに見えますか？ 屋根もできるかぎり軽く、薄くつくられました。町の未来を象徴するシンボルなのです。でも、古い建物と違和感がないように大きな丘がつくられ、みんなに開放されています。

### 清和文楽館



清和村には江戸時代からの文楽が伝えられています。その継承者は普段は農業に従事する人たちです。村の伝統文化にみんなが親しめるように、そして将来に引き継いでいくために文楽館は建設されました。四角い建物は九州を代表する文楽劇場、丸い屋根の建物は文楽人形の展示館です。伝統的木造建築技術では最高の高さを誇り、内部では力強い小屋組が見られます。

### 県立装飾古墳館



姿かたちの美しさでは日本屈指の前方後円墳、双子塚古墳がある岩原古墳群の中心にこの博物館があります。出土品を中心にさまざまな資料が展示されていますが、この建物の特徴は、屋上に登ると周囲に広がる古墳群と自然環境を一望できることです。

### 湯の香橋／白川橋景観整備



町を流れる川に架かる橋は、毎日渡る人だけでなく住む人みんなに親しまれています。でも、暮らしに身近な橋も交通が激しい現代では道路の一部となってしまいました。「湯の香橋」や「白川橋」は歩く人が休んだり、夜遠くから見てほっと気持ちが安らぐなど、人間が親しめるように考えられています。

### つなぎ物産ギャラリー グリーンゲート



みかんなどの柑橘類、魚介類などの特産品を展示、販売する建物。国道3号線沿い、町の玄関口にあたる場所でドライブインとしても親しまれています。外につくられた噴水やゲートは後ろのめがね橋や舞鶴城公園の山など散策路の入り口となっています。

### 草地畜産研究所畜舎



牛や馬を育て、食肉・乳製品を生産する畜産業。放牧を主体に無駄のない生産法を研究する草地畜産研究所は阿蘇の雄大な自然の中にあります。さて、この建物は動物の家です。変わったかたちは風通しや日差しへの工夫から考えられました。

### 熊本北警察署



警察署というと石積みで窓が小さい建物と考えがちですが、町中の警察署はもっと違う表情をと、そんな考えからこの建物はデザインされました。ひろい道路に面した建物正面はガラス張り逆ピラミッド型です。横側は道に沿って小さな流れがつくられ町にやさしい配慮がなされました。

## ほかにもこんなにある——くまもとアートポリスの建物

#### ●展望台

**五名天望館** 建築家：高崎正治  
熊本県五名市大倉字坂田1144（五名市都市計画課 0968-75-1122）  
**教会の見えるチャペルの鐘展望公園** 建築家：梅田正徳＋スペースデザイン設計事務所  
熊本県天草郡河津町崎津（河津町役場企画調整室 09697-6-1111）

#### ●博物館・美術館

**熊本県立美術館分館** 建築家：エアース・トーレス＋ホセ・アントニオ・マルチネス・ラペーニヤ＋大和設計  
熊本県千歳町2-2（096-351-8411）  
**八代市立博物館未来の森ミュージアム** 建築家：伊東豊雄  
熊本県八代市西松江町12-35（0965-34-5555） 開館時間：9:00-17:00（月曜休館）入場料：300円（常設展）  
**県立装飾古墳館** 建築家：安藤忠雄  
熊本県鹿本郡鹿本町岩原3085（0968-36-2151） 開館時間：9:30-17:00（月曜休館）入場料：400円  
**清和文楽館** 建築家：石井和雄  
熊本県上益城郡清和村大字大平原口152（0967-82-3001） 開館時間：9:00-17:00（月曜休館）  
入場料：400円（常設展示）1200円（文楽定期／予約公演）文楽定期公演：第2・4日曜日  
**石打ダム資料館** 建築家：入江経一  
熊本県宇土郡三角町中村字八久保  
**湯前まんが美術館・公民館** 建築家：桂英昭  
熊本県球磨郡湯前町字上牧原1834-1（0966-43-2050） 開館時間：9:00-17:00（月曜休館）入場料：300円（大）100円（小中）

#### ●研究施設・管理施設

**草地畜産研究所畜舎** 建築家：トム・ヘネガン＋インガ・ダグフィンズトッカー＋桜樹会・古川建築事務所  
熊本県阿蘇郡阿蘇町大字西湯浦（外観のみ見学可）  
**石打ダム管理所** 建築家：青木茂  
熊本県宇土郡三角町中村（外観のみ見学可）  
**松島町合津終末処理場管理棟** 建築家：斎藤宏  
熊本県天草郡松島町大字合津4276-387（0969-56-3195／見学、写真撮影許可要）  
**加久藤トンネル換気所** 建築家：小山明＋パシフィックコンサルタンツ  
熊本県人吉市大畑町、宮崎県えびの市東川北（外観のみ見学可）

#### ●コミュニティ施設

**花の温泉館** 建築家：ワークショップ  
熊本県阿蘇郡産山村（0967-25-2341） 開館時間：10:00-21:00（第1.3.5火曜休館）入浴料：500円  
**つなぎ物産ギャラリー グリーンゲート** 建築家：北山孝二郎  
熊本県芦北郡津奈木町岩城1601（0966-78-2000） 開館時間：10:00-18:00（水曜休館／道向かい文化センターに駐車場有り）

#### ●フェリーターミナル

**三角フェリーターミナル 海のピラミッド** 建築家：葉祥崇  
熊本県三角町大字三角浦 開館時間：7:30-19:30

#### ●学校

**県立球磨工業高校伝統建築実習棟** 建築家：象設計集団  
熊本県人吉市城本町800（0966-22-4189／見学、写真撮影は許可要）

#### ●警察署

**熊本北警察署** 建築家：鎌原一男＋大宏設計事務所  
熊本県草葉町5-13（熊本北警察署警務課 096-323-0110／内部見学、写真撮影は許可要、バス駐車不可）

#### ●公衆トイレ

**熊本市花畑パークトイレ** 建築家：大塚豊一  
熊本市花畑町6（近隣に駐車場有り）  
**熊本市上江津湖畔トイレ** 建築家：日田兆  
熊本市神水本町16-11  
**TOTO AQUAPIT ASO（阿蘇山上公共トイレ）** 建築家：山島安史  
熊本県阿蘇郡白水村山上広場

#### ●橋・橋の景観整備

**白川橋景観整備** 建築家：藤江和子  
熊本県二本木（道路の交通量が多いので要注意）  
**湯の香橋** 建築家：岸和郎  
熊本県芦北郡芦北町湯浦（夜間照明：19:00-22:00）

#### ●社員寮

**再春館レディースレジデンス** 建築家：鎌島和世  
熊本県菊山4-323-1（再春館製菓所総務課 096-384-5555／外観のみ見学可）

#### ●公営住宅

**県営竜平団地** 建築家：元倉真琴  
熊本県菊山3-1（外観のみ見学可、駐車不可）  
**熊本市宮託麻団地** 建築家：坂本一成＋長谷川逸子＋松永安光  
熊本県新南郡町33（外観のみ見学可、駐車不可）  
**県営保田産第一団地** 建築家：山本理顕  
熊本県菊山11-28（外観のみ見学可、駐車不可、中庭は入れません）  
**県営菊山A団地** 建築家：新納至門  
熊本県菊山11-23（外観のみ見学可、駐車不可）  
**熊本市営新地団地A・B・C** 建築家：早川邦彦・緒方理一郎・轟永謙  
熊本県清水町新地（外観のみ見学可、駐車不可）  
**県営新坂鹿団地** 建築家：小宮山昭  
熊本県渡鹿3-854-1（外観のみ見学可、駐車不可）